

会 議 記 録 簿

件 名	令和4年度第3回恵庭市社会教育委員の会議		
日 時	令和5年3月22日(水) 14:00～15:40	会 場	市民会館(中会議室)
出席者	恵庭市社会教育委員 市橋、高橋、太田、松田、結城、井上、野藤 (欠席)小玉、加藤、大嶋 市教委 岩渕教育長、竹内部長 (社会教育課)黒氏課長、桑原主査、佐々木主査、中井主査、中村、大谷 (読書推進課)岩崎課長 (郷土資料館)高橋館長	人 数	委員 7名 市教委 10名

概 要

1. 開会

2. 挨拶

恵庭市社会教育委員の会議 委員長 松田 一則
 恵庭市教育委員会 教育長 岩渕 隆

3. 議題

【報告事項】

(1) 「令和4年度社会教育事業報告」
社会教育課・読書推進課・郷土資料館
 (説明)

A委員

(P. 1、2) 家庭教育

現在どのような方が家庭教育ナビゲーターに登録されていて、どう次年度へ引き継がれているのか。

(P. 8、9) 長寿大学

研修旅行が前期・後期で同じところへ行っているが、別々のところへは行っていないのか。

(P. 13) ～恵庭市の学校・地域をつなぐ～コミスクかふえ！

こういった事業は必要な事業なので今後も継続して行ってほしい。

(P. 17) 公民館外国語講座

令和5年度の計画では、ロシア語の講座がなくなっている。世界情勢のこともあるのだろうが、どのような経緯で講座が終了するのか。

(P. 29) 古里千ヨイ散歩

参加者は多くなかったが、評判は良かったので、案内ガイドのボランティアが今後もいれば継続したい。

社会教育課

(P. 1、2) 家庭教育

内訳では未就学児から高校生の子を持つ母親が多く、男性は数名。ナビゲーターの有志で「えにわはぴナビネットワーク」を組織しており、毎年度新規ナビゲーターの加入意思確認、既存メンバーの継続確認を行っている。

(P. 13) ～恵庭市の学校・地域をつなぐ～コミスクかふえ！

来年度も継続して行う。

社会教育課

(P. 8、9) 長寿大学

学生自治会との協働事業でこれまで実施してきており、自治会の中の研修旅行選定委員会で研修旅行先を決めている。最近では100名以上で研修できる場所が少なく、人数を半分に前期・後期としているため、このような形となっている。

社会教育課

(P. 17) 公民館外国語講座

基礎的・基本的な知識・技能の習得を図る機会とするとして、概ね10年周期で講座を開設している。ロシア語講座は開講から10年以上が経過し、受講者も減少傾向にあるなか、一定の成果はでたと考え、次年度より中国語講座を開設する。

B委員

(P. 1、2) 家庭教育

私も家庭教育事業に参加している。働いている親が増えてきており、どのように開催するかは工夫しており、悩みを抱える親のために引き続き頑張りたい。

(P. 19) 島松公民館まつり

コロナで食べ物の提供がなかったが、楽しみにしているので、次年度に期待する。

(P. 28) アイヌ文化マスター育成事業

継続的に子どもがアイヌ文化について学んでいくものがあまりないので、素晴らしい事業だと思う。

C委員

それぞれの事業において、コロナ禍前では聞かれなかったニーズ、感想があれば教えてほしい。また、見逃し配信などのデジタルの活用等は考えていく必要があると思う。

社会教育課

コロナ禍の意見では、動画配信など希望する声はあり、会議はオンラインが増えている。子どもの体験事業についてはデジタルよりも実際に体験したいとの声があるので、現地開催が望ましいと感じた。

【協議事項】

(2) 「令和5年度恵庭市の社会教育(案)」

・令和5年度事業計画(案)

社会教育課・読書推進課・郷土資料館

(説明)

社会教育課

P. 4の「青少年宿泊研修施設の活用」を「青少年宿泊施設の利用促進」へ訂正、謝罪する。

D委員

P. 8のえにわ市民文化祭は第65回ではなく第68回ではないか。

社会教育課

訂正、謝罪する。

A委員

P. 5の「学習ボランティア活動の支援」とあるが、学習ボランティアとは学習する生徒、学習を支援するボランティアの両方が含まれているのか。

E委員

学校では一般的に子どもたちの学習を支援してくれる方たちを学習ボランティアという。

B委員

すずらん踊り50周年ということで、素敵な大会になる事を期待する。

・令和5年度社会教育関係補助金(案)

社会教育課

(説明)

C委員

恵庭市通学合宿等助成金について、実施状況に合わせ減額とのことだが、基金活用事業であり、体験活動のニーズも高まっていることから維持していくべきではないか。

社会教育課

コロナ禍を経て宿泊を伴う事業に加え、日帰り事業にも対応できるよう要綱を変えたので、幅広い活動を支援したいと考えている。実績により当初予算は減額となっているが、R5年度の状況をみて、R6年度の予算に反映したい。地域の方が、予算がないからできないと思わないように支援していく。

B委員

通学合宿は非常にお金がかかるので、助成金で賄えるものが多ければ良い。

社会教育課

助成金は実績のあった4団体分をもとに積算しており、単体で行う地域活動としての通学合宿に対する助成金の予算は減額となっている。しかし、社会教育の動きとして、通学合宿はコミュニティ・スクールなど地域学校協働活動へ移行しており、コミュニティ・スクールで通学合宿を行う場合、各校の学校運営協議会に対して交付される補助金があるという話をふまえての額となっている。予算が足りない場合も流用で増額するなど対応できる。

【情報提供】

(3) 「令和5年度恵庭市の社会教育(案)」

・令和5年度社会教育関係予算

社会教育課・読書推進課・郷土資料館

(説明)

C委員

市民会館費が前年度より17,163千円増額されているが、この理由は。

社会教育課

設備関係によるもの。

4. その他

社会教育課

- ・優良公民館表彰受賞報告

社会教育課

今回が今年度最後の会議となり、今年度の活動に感謝する。来年度は改選時期ではないため、引き続き皆様に社会教育委員としての活動をしていただきたいと思います。次回の会議は5月～6月に行われる予定。

5. 閉会

